

心を見つめる視点を大切に 生み出した明日へのサービス

アインビズ株式会社

採択テーマ ▶ 乗務員への「AIの目」と事故防止支援サービスの構築

クラウドやIoT、AIなどを使って、社会的課題を解決しようとしている会社。経営、マネジメント、マーケティングに関する知見とIT活用スキルを駆使し、新たなビジネスモデルを提示しながら顧客の事業変革をサポートしている。健康な状態で運転業務に臨めるようにドライバーをやさしく見守るAI「安全カータロー」も注目されている。



代表取締役社長：森脇 健一さん

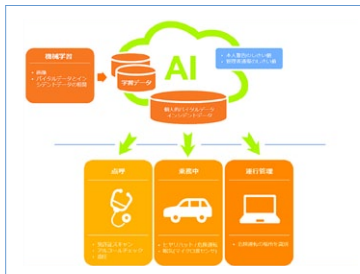
キーワード ▶ 新しい技術を使って社会的課題の解決をめざす



運転適性チェックのゲームなども楽しめる「安全カータロー」のWEBサイト。



「安全カータロー」のWEBサイトには、分かりやすいイラストもふんだんに使われている。



ドライバーへの「AIの目」による事故防止支援サービスであり、点呼、乗務中、運行管理などが一つのパッケージになっている。

◆ サービスを創造するソリューション提案型のビジネスへ

「今まではお客様がやりたいことを受注して仕事にしていたのですが、事業化支援を受けることで『ソリューション提案型』のビジネスができると考えました。まずサービスをつくり、ニーズのあるお客様に提供できる。『受注型』から『提案型』のビジネスになるわけです」と語るのには、代表取締役社長の森脇健一さん。革新的サービスの事業化支援事業には、2回目の挑戦で採択された。「私たちのような中小企業が、なんのしがらみもなく軽いフットワークで、ゼロベースから開発に集中できる。その後押しをしてもらいました」と森脇さんは語る。

◆ ドライバーが健康な状態で運転できる見守りのシステム

「ちょうどバスの悲惨な事故が続いていた頃で、当社のお客様やバス会社の方々と、なんとか解決できないだろうかと話していました」と森脇さん。そこで開発したのが、ドライバーの心身の状況を把握できるモニターとAIを中心にしたトータルなパッケージ「安全カータロー」である。「特に『心』の面に重点を置いて、健康な状態で運転してもらえるように見守りのシステムを考えました。また、ドライバーの身体の負担にならないように機器の装着を避け、マイクロ波センサを使うなど『非接触』にこだわっています」と、評価のポイントを語った。

◆ 社会的に困っている人たちの力になれるよう努めたい

森脇さんは「支援を受けながら定期的にレビューすることで進捗管理を行い、計画と課題をしっかりと認識できたと思います。また、サービスを紹介するWEBサイトも、充実したものを作成できました」と語る。既に大手バス会社から実証実験の話をもらい、準備へと向かっているほか、数社から関心を寄せられている。「今、この時代にいっそう強く思うのは、社会的に困っている人たちの力になりたいということ。そんな取り組みをAI、IoTの面でサポートして下さった取引先の皆様にお礼を伝えたいです」と感謝の言葉で締める森脇さんだった。



オンライン診療から酪農まで、幅広い分野でクラウドサービスを提供し、社会的課題を解決しようとしている会社です。事故防止支援サービスの進捗においては、コロナ禍で遅れが生じた部分もありますが、これから社会に役立つものと期待しています。

会社概要

所在地 ● 東京都多摩市中沢2-11-2-501 TEL ● 050-5849-5182 URL ● <https://www.ainbiz.co.jp>
代表取締役社長 ● 森脇 健一 設立 ● 2012年12月 資本金 ● 800万円